

ご通行中のみなさん、こんにちは。

私たちは保育・学童保育の保護者と保育士、学童保育指導員です。

保育・学童保育・子育て支援の充実を求めて署名をしています。ご協力をよろしくお願いします。

学童保育は、働く保護者の子どもたちが、小学校の放課後や夏休みなどに過ごす「生活の場」です。私たち保護者・指導員は、「安心して働きたい」「子どもに豊かな放課後生活を過ごさせたい」と願い、学童保育の充実を願っています。現在、学童保育には、全国で130万人、大阪で7万人を超える子どもたちが通っています。

小学生の子どもたちには「ただいま～」と帰ってこれる場所が必要です。学童保育では、安心して過ごせる場所、楽しい仲間、そして信頼できると大人と一緒に、放課後、たくさんの経験をつみながら、子どもたちは豊かに育ちあっています。

3年に及ぶコロナ禍は、私たちの仕事や生活に深刻な影響を広げています。そこで明らかになったのは、学童保育は保育園と同様に、社会にとって必要な施設である、ということです。この間、様々な声が寄せられています「病院に勤務しているが、小学校の休校中、二人の子どもを学童保育で一日中、見てもらえ非常にありがたく、安心して働くことができた」「共働き家庭にとって充実した保育環境がいかに大切か、痛感」「大きな不安を感じる中、“第2の我が家”ともいうべき学童保育に、感謝」「障害があってもなくても学童保育で楽しく過ごせるようにしてほしい」など。お母さん・お父さんから、「学童があって良かった／指導員さんが安定して働けるようにしてほしい」の声が寄せられています。

私たちは今、保育・学童保育でいっしょに国会や大阪府議会に向けて請願署名に取り組んでいます。署名に込めた願いは、約40年間変わらない保育の基準をよくしてほしい。学童保育でも、1部屋40人という基準がありながらも実際には60人・70人の子どもたちが1つの部屋にいる現状を改善してほしい。子どもが何十人も多すぎるとは、子どもたち同士の関係や発達（そだち）にとって良い環境とはいえません。

また保育所や学童保育は子どもたちが過ごす専門的な場所で、災害時も子育て支援のセーフティネットの役割を果たします。そんな施設として整備することを要望しています。大阪府議会には、保育料の完全無償化、学童保育の保育料減免ができるよう、大阪府の補助を創設してほしい、そうした願いを署名に込めました。どうかみなさん、保育・学童保育を充実する署名にご協力をおねがいします。

新型コロナが広がって、何度も緊急事態宣言が発令されました。その間も、保育・学童保育は、働く保護者を支え、社会機能の維持に必要な事業として開設されてきました。難しい課題もたくさんありますが、保育士・学童保育指導員と保護者、自治体、学校が、協力しあい、子どもたちの居場所を守って、保護者の就労と子どもの育ちを保障してきました。

「マスクをはずし、自由に遊びたい」「走り回って笑えるようなことをしたい」「思いっきりでっかい声でしゃべりたい」。長く続くコロナ禍での、子どもたちの声です。こうした子どもの声に耳を傾けながら、子どもの笑顔と笑い声が響き合うまち、豊かな保育・学童保育が充実する安心な社会にしていきたい、どうか、私たちの署名にご協力いただけますよう、よろしくお願いいたします。（ありがとうございました。）